

令和6年度 三股町立宮村小学校 学校関係者評価書

学校経営ビジョン 【 体・徳・知の調和のとれた人間性豊かな実践力のある子どもの育成 】

4:期待どおり 3:ほぼ期待どおり 2:やや期待を下回る 1:改善を要する

項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	手段	ポイント			自己評価	結果の考察・分析および改善策等	学校関係者評価	
			児童	保護者	職員			意見	評価
【計画1】	■目標 「確かな学力の向上と定着」 ■手段 1 実態や特性の多角的な理解による「個別最適な学び」「協働的な学び」の展開 2 読解力・表現力の育成 3 地域素材・人材の活用	1 2	3.7	3.2	2.8	3.2	○ 理由や根拠を明確に話ししたり、書いたりする学習を充実させ、思考力・判断力・表現力を育てた。また、児童自らが問いをもち主体的に学ぶことができるような授業を展開する中で、児童同士の学び合いの時間を設けるとともに、個の実態に応じた指導の工夫を行った。 ○ ICT機器（タブレット）を活用して、学習の効率化を図るとともに、授業用支援アプリやドリルを活用し児童の基礎学力の定着や情報教育の充実を図った。 ○ 授業支援として保護者や地域の方、南九州大学の学生に来ていただき、学習の充実を図った。	○ 授業支援が進んでいることはいいことだと思う。後は、これをどうシステム化して、継続させていくかだと思う。やはり、主体は先生だと思うので、先生たちが主体性をもって取り組んでほしい。 ○ 時代の変化もあり、先生方も苦労がおおいかと思う。しかし、子ども達の顔がすごく良いので安心していている。 ○ 保護者や地域の方も今の「時代」に変化させるものも大事なことだと思う。 ○ 授業を拝見させていただいたこともあり、学習意欲が感じられた。 ○ 教育の基礎は読み・書き・ソロバンだと思う。 ○ タブレット機器を使用し、IT社会に素早く受け込んでほしい。 ○ A L T の導入について児童の意識に変化があるのか。 ○ 学校での教育の進め方は良かったと思う。ボランティア活動も大変良かった。学校や家庭での自学や復習の方法を周知できると子ども達のできないことのチャレンジにつながるかもしれない。	3.2
		1	3.7	3.3	3.4		○ 読み聞かせボランティア活動で保護者や地域の方に来ていただき、本や活字に触れる機会を充実させた。今後も、読書活動が習慣化するような取組を充実させていきたい。 ○ 本を寄贈していただき、国語の学習等で大いに活用させていただいた。		
		3		3.3	3.0		○ 家庭と連携して、家庭学習の習慣化と充実を図ることで、読解力や表現力の育成を図った。 ○ 保護者からは自主的な家庭学習の習慣化を図るために、自主学習ノートの活用法などを指導してほしいという意見が寄せられた。		
		2	3.2	2.3	3.2		○ あいさつや返事の習慣化を図るとともに、進んで、気持ちのよいあいさつができるように、家庭や地域と連携した指導や見届けを行った。 ○ 毎月、各学年のあいさつ名人を選出し意識付けを図った。		
		2	3.3	2.9	2.9		○ 学校生活や放課後の過ごし方等のルールやまきまりを守らうとする態度が身に付くように、家庭や地域と連携した指導の充実を図った。 ○ 身の回りの整理や準備、後始末をする態度が身に付くように、学校では日常的に指導を行った。ただ、家庭では習慣化が難しいという結果だったので、家庭と連携した取り組みが必要である。 ○ 児童アンケートを毎月実施するとともに、教育相談や教師間の情報共有を行い、学校全体で、いじめ防止や不登校対策を行った。児童の数値は高いものの保護者の数値が低いことから今後も事案に対して丁寧な対応を行い保護者と連携して対応していく必要がある。		
【計画1】	■目標 「積極的な生徒指導の展開と豊かな心の育成」 ■手段 1 基本的な生活習慣や態度の定着 2 児童への共感的理解 3 望ましい人間関係の育成	1	3.6	3.2	3.3	3.3	○ あいさつや返事の習慣化を図るとともに、進んで、気持ちのよいあいさつができるように、家庭や地域と連携した指導や見届けを行った。 ○ 毎月、各学年のあいさつ名人を選出し意識付けを図った。	○ あいさつやルールの継続等、学校の取組に有難さを感じている。ただ、数字が保護者で伸びていない部分を見ると、学校から保護者へ子どもこの部分が苦手（良い点も含め）等のやり取りがあれば保護者もその部分を重要と捉えることもできるのではないだろうか。	3.7
		1	3.7	3.3	3.2		○ 学校生活や放課後の過ごし方等のルールやまきまりを守らうとする態度が身に付くように、家庭や地域と連携した指導の充実を図った。 ○ 身の回りの整理や準備、後始末をする態度が身に付くように、学校では日常的に指導を行った。ただ、家庭では習慣化が難しいという結果だったので、家庭と連携した取り組みが必要である。 ○ 児童アンケートを毎月実施するとともに、教育相談や教師間の情報共有を行い、学校全体で、いじめ防止や不登校対策を行った。児童の数値は高いものの保護者の数値が低いことから今後も事案に対して丁寧な対応を行い保護者と連携して対応していく必要がある。	○ 学校外でもあいさつが良く、元気がいい。自分自身も元気をもらえて嬉しい。 ○ 子ども達の挨拶がとても良いと感じている。 ○ 夕方の帰宅時間も正しく守ることができていると思う。 ○ 整理・片付け掃除等家庭でも自主的にできるよう子どもと話したいと思う。	
		1	3.4	2.6	3.1		○ 健康な生活習慣の定着と感染症対策の徹底に努めた。 ○ 熱中症対応で運動量の十分な確保が難しい時もあったが、ルール等を工夫して体力向上に向けた授業や学校行事の充実、外遊びの奨励を行った。また、水泳指導時は雷探知機等を活用し安全面への対策を行った。	○ 学校での取組が家庭でも生かされていると思う。 ○ 工夫がすごく伝わり子ども達のために考えてくださるのがとても嬉しい。 ○ 児童・保護者・職員の皆さんの評価がほぼ同じであることから、連携の良さを感じる。 ○ 一町田公園で遊んでいる児童が多くて嬉しく思う一方で時々後片付けができていない状況がある。 ○ 夏場の水分補給等良くできていたと思う。冬季の服装等の規定も分かりやすかったと思う。また、コロナやインフルエンザ対策は学校と家庭で良くできていたと思う。	
		2 3	3.7	2.9	3.5		○ 熱中症対応で運動量の十分な確保が難しい時もあったが、ルール等を工夫して体力向上に向けた授業や学校行事の充実、外遊びの奨励を行った。また、水泳指導時は雷探知機等を活用し安全面への対策を行った。 ○ 廊下歩行や教室での過ごし方、交通安全、毎月1回の校舎内外の安全点検等を含めた安全・安心な学校環境づくりや安全指導の充実を努めた。 ○ 健康の保持増進に向けた取組（早寝早起き朝ごはん、歯みがき、むし歯治療等）を家庭と連携して行った。		
【計画1】	■目標 「健康教育の推進と体力の向上」 ■手段 1 家庭との連携による新しい生活様式を含む健康的な生活習慣の定着 2 体力の向上 3 安全に活動できる施設環境の整備	1	3.7	3.3	3.2	3.4	○ 熱中症対応で運動量の十分な確保が難しい時もあったが、ルール等を工夫して体力向上に向けた授業や学校行事の充実、外遊びの奨励を行った。また、水泳指導時は雷探知機等を活用し安全面への対策を行った。 ○ 廊下歩行や教室での過ごし方、交通安全、毎月1回の校舎内外の安全点検等を含めた安全・安心な学校環境づくりや安全指導の充実を努めた。 ○ 健康の保持増進に向けた取組（早寝早起き朝ごはん、歯みがき、むし歯治療等）を家庭と連携して行った。	○ 学校での取組が家庭でも生かされていると思う。 ○ 工夫がすごく伝わり子ども達のために考えてくださるのがとても嬉しい。 ○ 児童・保護者・職員の皆さんの評価がほぼ同じであることから、連携の良さを感じる。 ○ 一町田公園で遊んでいる児童が多くて嬉しく思う一方で時々後片付けができていない状況がある。 ○ 夏場の水分補給等良くできていたと思う。冬季の服装等の規定も分かりやすかったと思う。また、コロナやインフルエンザ対策は学校と家庭で良くできていたと思う。	3.8
		1	3.3	3.4	3.2		○ 熱中症対応で運動量の十分な確保が難しい時もあったが、ルール等を工夫して体力向上に向けた授業や学校行事の充実、外遊びの奨励を行った。また、水泳指導時は雷探知機等を活用し安全面への対策を行った。 ○ 廊下歩行や教室での過ごし方、交通安全、毎月1回の校舎内外の安全点検等を含めた安全・安心な学校環境づくりや安全指導の充実を努めた。 ○ 健康の保持増進に向けた取組（早寝早起き朝ごはん、歯みがき、むし歯治療等）を家庭と連携して行った。		
		2	3.6	3.4	3.1		○ 熱中症対応で運動量の十分な確保が難しい時もあったが、ルール等を工夫して体力向上に向けた授業や学校行事の充実、外遊びの奨励を行った。また、水泳指導時は雷探知機等を活用し安全面への対策を行った。 ○ 廊下歩行や教室での過ごし方、交通安全、毎月1回の校舎内外の安全点検等を含めた安全・安心な学校環境づくりや安全指導の充実を努めた。 ○ 健康の保持増進に向けた取組（早寝早起き朝ごはん、歯みがき、むし歯治療等）を家庭と連携して行った。		
		3	3.4	3.3	3.4		○ 熱中症対応で運動量の十分な確保が難しい時もあったが、ルール等を工夫して体力向上に向けた授業や学校行事の充実、外遊びの奨励を行った。また、水泳指導時は雷探知機等を活用し安全面への対策を行った。 ○ 廊下歩行や教室での過ごし方、交通安全、毎月1回の校舎内外の安全点検等を含めた安全・安心な学校環境づくりや安全指導の充実を努めた。 ○ 健康の保持増進に向けた取組（早寝早起き朝ごはん、歯みがき、むし歯治療等）を家庭と連携して行った。		
【計画1】	■目標 「地域とともにある学校づくり」 ■手段 1 地域保護者への情報発信 2 学校運営協議会制度の推進	1 2		3.4	3.2	3.3	○ ホームページの定期的な更新や学校便りの発行をはじめ、学級通信等を通して情報発信を行った。 ○ 「みまつの日」の取組として、児童書朗読や登校時のあいさつの見届け等の活動を行った。また、三股教育の日への参加、学校子ども郵便局の取組等を通じて、ふるさと教育やキャリア教育の充実を図った。	○ 学校運営協議会が一年ごとに機能性が増し、今後更なる期待がもてられるのではないだろうか。一方で、学校とPTA行事の親交が弱くなりそう不安はあるが、時代背景もあり難しいところだと思う。 ○ 家庭・地域との連携を感じることが多くあり、「子ども達のために」というのが伝わってくる。 ○ 子ども達の成長の為に、皆さんが力を含わせて一生懸命活動されていることに感動している。特に、幼保小連携に関しては、保育園の思いを十分に受け入れて実行していただき、心から感謝している。 ○ 学校運営協議会委員を受けるのも年齢差が大きく学校・児童の情報が少ない。 ○ アオバズクにて学校行事はよく理解できる。郵送ではなく児童から受け取れると少しでも状況が分かる。 ○ 地域の方と活動できることが増えると良い。学校運営協議会の運営は大変だったと思うが、保護者・地域・児童がふれあえる活動を期待している。	3.7
		1		3.3	3.1		○ ホームページの定期的な更新や学校便りの発行をはじめ、学級通信等を通して情報発信を行った。 ○ 「みまつの日」の取組として、児童書朗読や登校時のあいさつの見届け等の活動を行った。また、三股教育の日への参加、学校子ども郵便局の取組等を通じて、ふるさと教育やキャリア教育の充実を図った。		
		1 2		3.3	3.5		○ 学校運営協議会の組織を編成し、学校運営協議会の役割をしっかりと共通理解した上で、保護者や地域の方を巻き込んだ活動が形になりつつある。		